



学校だより

# はと広場

北小 Revival～ありがとう 75 年 100 年に向かってスタート

7 月 号

令和 3 年 6 月 3 0 日

さいたま市立北浦和小学校

TEL 048-831-2463

不屈～自分の可能性を信じる～

校長 三村 悟

先日、浦和区からニチニチソウを頂きました。浦和区の花として毎年頂く明るく可愛らしい花は、夏の到来を教えてください。花壇や教室などあちこちで元気に咲いています。

6 月は、自然の教室、個人面談、プール開き等の学校行事を行いました。日常の授業だけでなく、このような行事を通して児童は成長していきます。行事の意義を理解し、実施に当たり御協力いただいたことを心より感謝申し上げます。

先日、中庭で草取りをしていたら、下校途中の 6 年生が「校長先生、お手伝いしますよ」と話しかけてくれました。「家の人が心配するといけなけれど」と言うと、「近くだから大丈夫です」と言って 15 分ほど一緒に汗を流してくれました。

6 月の朝会で話した「相手が嬉しくなることを勇気を出して言葉にして伝えよう」というメッセージを、言葉と共に行動でも示してくれたことに感激しました。

校舎内を歩いていると「ありがとうございます」とか「うれしいです」という言葉をよく耳にします。きっと御家庭で温かな言葉をかけてもらっているのでしょう。学校と家庭が連携して子どもの心を耕すことの大切さを改めて胸に刻む日々です。



職員玄関のニチニチソウ

「人生 100 年時代」の提唱者として有名な、英国のリンダ・グラットン氏は、コロナ時代に重要な資質を 4 つ示し、その中でもっとも重要な資質として「レジリエンス」を挙げています。レジリエンスとは、日本語で「復元力」などと訳されます。そのイメージは、強風で倒された草がしばらくすると元に戻るように、苦難にも折れてしまわないしなやかな強さです。「不屈の精神」と聞くと鉄柱のような強固なものを思い浮かべますが、大切なのは、倒れても折れないしなやかさのようです。

5 年生と過ごした館岩少年自然の教室では、2 日目の夜に雨が降り、楽しみにしていたナイトハイキングが出来なくなってしまいました。楽しみにしていた児童はがっかりです。でも、その気持ちをいつまでも引きずったり八つ当たりしたりしないで、代わりにクラスレクを受け入れ、心から楽しんでいる子どもたちの姿にレジリエンスの育ちを見た思いでした。困難に出会ってもへこたれない不屈の心は、思い通りにならなかった時でも、一緒に乗り越えてくれた人がいたという信頼関係の中で育っていくのです。

未知の出来事や困難な問題に出会った時に、「何とかしてみよう」と自分の可能性を信じる気持ちは、人と人との温かな触れ合いによって育まれていきます。予測が難しい未来を生きる子どもたちにとって、欠かすことのできない「非認知能力」として、様々な教育活動を通じて大切に育てていきたいと思えます。